

ユーグレナ創業のきっかけの地、 Bangladesh でのソーシャルビジネス  
「ユーグレナ GENKI プログラム」10周年  
法人向け寄付金制度を新設しプログラム規模拡大  
一人でも多くの子どもへユーグレナクッキーを届けます

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充）は、Bangladesh の子どもたちの栄養問題の解決を目指して、豊富な栄養素を持つ微細藻類ユーグレナ入りクッキー（以下「ユーグレナクッキー」）を無償で配布する「ユーグレナ GENKI プログラム」が、2024年4月で10周年を迎えることをお知らせします。

「ユーグレナ GENKI プログラム」10周年を機に、一人でも多くの子どもを支援できるよう、プログラムの規模を拡大するため、法人を対象に GENKI プログラム寄付金制度「GENKI-Yell(エール)」を新設します。



Bangladesh の小学校でユーグレナクッキーを配布する当社社長の出雲（『ユーグレナ GENKI プログラム』を開始した頃）

当社は、社長の出雲が学生時代に訪れた Bangladesh で、栄養失調に苦しむ子どもたちを目の当たりにし、栄養問題の解決を決意したことをきっかけとして創業した会社です。

2014年4月から、Bangladesh の子どもたちの栄養問題解決を目指し、現地の子どもたちに特に不足している栄養素1日分を1食分で摂取できるユーグレナクッキーを無償で配布する「ユーグレナ GENKI プログラム」(<https://euglena.jp/genki/>)を開始しました。この「ユーグレナ GENKI プログラム」の活動は、ユーグレナ・グループの全商品およびパートナー企業のプログラム対象商品の売上の一部を協賛金として充てることで運営しています\*。プログラム開始以降、これまでに累計1,793万食のユーグレナクッキーを配布しました（2024年3月末時点）。当初は首都ダッカのスラム街で始まった活動ですが、現在は Bangladesh 全土へと支援範囲が広がっています。

\*このほか2017年9月より、一部の小学校の子どもたちに関して、現地の NGO や学校の方々にユーグレナクッキー1袋あたり4~5円をご支援いただいています

このたび「ユーグレナ GENKI プログラム」が10周年を迎えるにあたり、一人でも多くの子どもを支援できるよう、プログラムの規模を拡大するため、法人を対象に GENKI プログラム寄付金制度「GENKI-Yell(エール)」を新設します。さらに、「ユーグレナ GENKI プログラム」対象の学校の先生や保護者の方から「子どもが病気をしづらくなった」「(給食となる)クッキーがあるから学校に行くようになった」というお声をいただいております。健康診断等をとおして、プログラムが子どもたちの健康に与える影響についての効果測定を行います。

#### ■GENKI プログラム寄付金制度「GENKI-Yell(エール)」とは

バングラデシュの子どもたちの栄養問題の解決を目指して、豊富な栄養素を持つユーグレナ入りクッキーを無償で配布する「ユーグレナ GENKI プログラム」の法人を対象とした新たな寄付金制度。1口50,000円で、約10人の子どもたちに1年間継続してユーグレナクッキーを届けることができます。

■ソーシャルビジネス領域で人を健康に。原点回帰へ、創業の想いから発展したソーシャルビジネスの現在地とこれから (2024年4月25日公開)

<https://www.euglena.jp/times/archives/22863>

<株式会社ユーグレナについて>

2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ(和名:ミドリムシ)の食用屋外大量培養技術の確立に成功。「Sustainability First(サステナビリティ・ファースト)」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、微細藻類



ユーグレナ、クロレラなどを活用した食品、化粧品等の開発・販売、バイオ燃料の製造開発、遺伝子解析サービスの提供、未利用資源等を活用したサステナブルアグリテック領域などの事業を展開。2014年より、バングラデシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」を、継続的に実施している。<https://euglena.jp>